

姉妹都市から 新年のご挨拶



埼玉県入間市長
田中 龍夫

佐渡市の皆様、あけましておめでとうございます。皆様方には、清々しい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、貴市におかれましては、トキふれあいプラザのオープンや日本ジオパークネットワークへの加盟が認定される等、人と自然が見事に融和した取り組みを日本全国に向けて発信された1年であったかと存じます。これも、佐渡市民の皆様のこれまでの努力が認められたものと感じております。今後世界ジオパークや佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて邁進されますことを心より御期待申し上げますとともに、姉妹都市として応援していく所存でございます。

また、本市では昨年より両市の交流事業の総称を「入間の海」事業とし、入間市民が佐渡を「第2のふるさと」と感じられるような事業の拡大を図って参りました。両市小学生の交流事業「青少年交流事業サマーキャンプ」を始め、「佐渡國鬼太鼓どっとこむ」「入間万燈まつり」「入間の海 佐渡フェア」など教育・文化芸能・物産販売と多岐な分野にわたる交流が推進できましたことに、心より感謝申し上げます。

本年につきましては、佐渡州市制施行10周年を迎えることから、さらに様々な分野での交流を拡大し、両市の絆を深めてまいりたいと存じます。

結びに、貴市のますますのご発展と貴市市民のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。



東京都国分寺市長
井澤 邦夫

佐渡の皆様、あけましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

私は昨年の7月13日より国分寺市長に就任いたしました。

佐渡市には、昨年3月の2日間、当時市議会議長として議員団とともに訪問しております。島内では、島独特の地形を持つ宿根木海岸を散策し、知恵と工夫にあふれた技術を生み出した先人の暮らしぶりなどに触れることで佐渡の歴史を知ることができました。

また、市長就任後には、本市最大のイベント「国分寺まつり」に市長、議長をお迎えし、姉妹都市交流25年記念の友好の盾を交換しました。まつりの会場では、伝統芸能の鬼太鼓や民謡をご披露いただき、人気の佐渡物産展は例年どおり大盛況でした。

昨年同様、今年も多くの両市民が親しく交流し、友好を深めることを期待しております。

私は、姉妹都市締結から25年目の節目の年に市長となりましたことを誇りに思うとともに、これからも両市の友好関係のより一層の発展と災害協定などでの連携強化を図るため努力してまいり所存です。

今後ますますの両市の繁栄を祈念して、新年のご挨拶いたします。